



群青の追憶

海底に眠る大東亜戦争の戦争遺産を追う

2018 10/20 [土] ~ 2019 1/31 [木] (12/28 ~ 31休艦)

●観覧時間=午前9時~午後5時 (10月)、午前9時~午後4時30分 (11~2月) (入艦は閉艦の30分前まで)

●会場=記念艦「三笠」5番・7番砲室

●11/18 [日] 戸村裕行トークイベント開催 午後1時30分~午後2時30分 (開場午後1時)

●トークイベント会場=三笠艦内講堂 (無料/記念艦三笠の入艦料が必要です)

●観覧には記念艦「三笠」にご入艦頂く必要があります。

大人=600円

高校生=300円

小中学生=無料



戦艦長門の第四主砲 / ビキニ環礁 (マーシャル諸島)



富士川丸で見つけた「横須賀海軍々需部行」と書かれた木札 チューク (トラック諸島)



神國丸甲板に置かれた当時の食器や靴底
チューク (トラック諸島)



瀬戸内海に眠る戦艦・陸奥で見つけた防毒面
柱島沖 (日本)



平安丸の機関室内部に残る電球
チューク (トラック諸島)



平安丸客室付近から出てきた当時の新聞
チューク (トラック諸島)



富士丸の船首とダイバー / チューク (トラック諸島)



零式艦上戦闘機二一型とダイバー / ラバウル (バブアニューギニア)

記念艦 三笠 特別企画 戸村裕行 水中写真展

群青の追憶

海底に眠る大東亜戦争の戦争遺産を追う

大東亜戦争を起因とし、現在も海底に眠る日本の船、
航空機、潜水艦に実際に潜り、
撮影をし続けた一人の写真家の記録。

2018 10/20 [土] ~ 2019 1/31 [木] (12/28 ~ 31 休艦)

●観覧時間=午前9時~午後5時 (10月)、午前9時~午後4時30分 (11月~2月) (入艦は閉艦の30分前まで)

●会場=記念艦「三笠」5番・7番砲室

戸村裕行トークイベント開催!

●日時=11/18 [日] 午後1時30分~午後2時30分 (開場午後1時)

●トークイベント会場=三笠艦内講堂 (無料 / 記念艦三笠の入艦料が必要です)

【展示エリア】インドネシア (マノクワリ、ゴロンタロ他)、北マリアナ諸島 (サイパン)、グアム、ソロモン諸島 (ガダルカナル島・ツラギ島・ニュージョージア島)、日本 (沖縄・柱島沖)、バブアニューギニア (ラバウル)、パラオ、マーシャル諸島 (ビキニ環礁)、フィリピン (ブスアング島・コロン)、ミクロネシア・チューク (トラック諸島) (五十音順)



桑港丸の甲板上の九五式軽戦車
チューク (トラック諸島)



秋津洲のクレーンを望む三連装機銃と砲弾
コロン (フィリピン)



海底に鎮座する二式飛行艇のプロペラ
サイパン

記念艦三笠

公益財団法人三笠保存会

横須賀市稲岡町82番19

TEL.046-822-5225 (代表)

www.kinenkan-mikasa.or.jp



●京急>>「横須賀中央駅」より[中央1]三笠循環バスで「三笠公園」バス停下車

●JR>>「横須賀駅」より[中央1]三笠循環バスで「三笠公園」バス停下車。その他の路線バスで「大滝町」バス停下車。徒歩7分

●お車>>横須賀インターチェンジ~本町山中道路終点~国道16号線~三笠公園入り口を左折。付近に駐車場 (有料) あり



水中写真家 戸村裕行

世界の海中を巡り、大型海洋生物からマクロの生物まで、様々な海中景観を撮影し続けている水中写真家。生物の躍動感や海の色彩を意識した作品は、ウェブやダイビング誌、カメラ誌などを中心に発表されている。また、一つのライフワークとして大東亜戦争を起因とする海底に眠る事となった日本の艦船や航空機などの撮影を世界各地で続け、現在までにその数は100程になる。その取材内容はミラタリー総合誌、月刊「丸」にて毎月連載が続いている。

●オフィシャルサイト>>www.hiroyuki-tomura.com